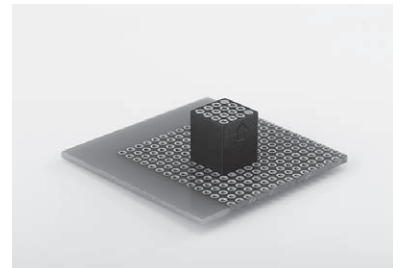
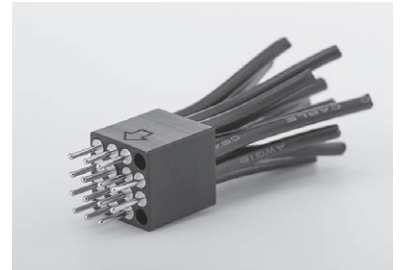
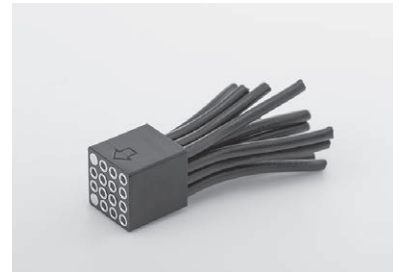


誤挿入防止電線用ソケット

RST シリーズ

RoHS対応

- 多系統のケーブルが接続されるプリント基板用コネクタの誤挿入を防止できます。
- 本製品は、ヒューマンエラーを防ぐための構造的な特徴を持っていますので、異系統コネクタの誤挿入も、また、誤った向き（90°、180°、270°）の誤挿入も、構造的に不可能となっています。
- ユーザー様にて閉塞ピン位置を決めていただけますので、多系統のコネクタが共通部材で実現できます。
- 材質…ハウジング…PBT 黒色 (UL94V-0)
 ピン…黄銅 (ニッケル下地金メッキ)
 ソケット…ボディ：黄銅 (ニッケル下地金メッキ)
 …コンタクト：ベリリウム銅 (ニッケル下地金メッキ)
 閉塞ピン…黄銅 (ニッケル下地スズメッキ)
- 絶縁抵抗……500M Ω以上
- 絶縁耐圧…500V AC,DC1 分間
- 定格電流……5A (1 ピン当たり)
- 接触抵抗……10m Ω以下 (1 ピン当たり)
- 挿抜耐久性……100 回
- 使用温度範囲……- 40 ~ + 100℃



■ハウジング品番 (ピン側、ソケット側共通)

品番 1	パック数量
RST-M	10 個

■ピン品番

品番	1パック数量	圧着工具	先端ツール
RST-W-P	100 個	OMXT-1	XRS-4

■ソケット品番

品番	1パック数量	圧着工具	先端ツール
RST-W-S	100 個	OMXT-1	XRS-4
RST-B-S	100 個	-	-

■閉塞ピン品番

品番	1パック数量
RST-W-B	100 個

■寸法図

<p>A:7.62(P=2.54)</p> <p>12 16-φ2.15 12 12 矢印マーク面のみ 12 RST-M</p>	<p>φ2.18 φ0.9 5 0.3 1 5 φ1.57 φ2.1 RST-W-P</p>	<p>φ2.18 φ2.1 3 1 0.3 9 φ1.57 φ2.1 RST-W-S</p>	<p>φ2.18 φ2.1 5.5 3.0 0.3 12 3 φ0.85 RST-B-S</p>	<p>φ2.18 φ2.1 1 0.3 9 φ2.1 RST-W-B</p>

RST 取付例・工具

Tool

4 × 4 の計 16 ピンのうちの 2 ピンを閉塞する場合について説明します。

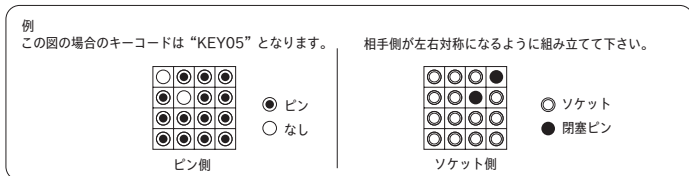
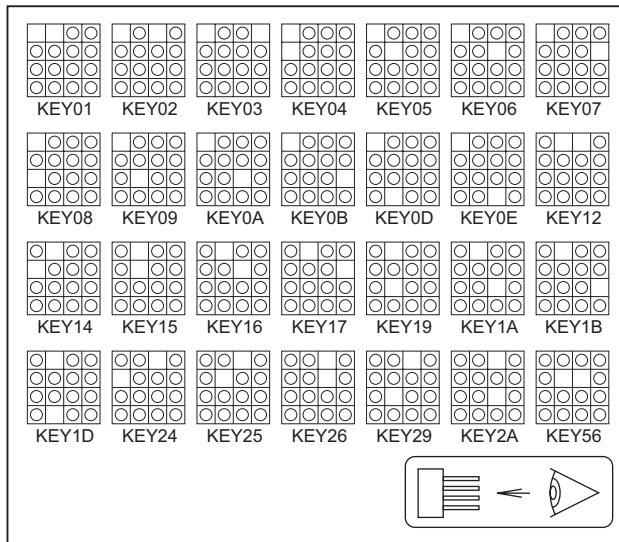
図に示した 28 通りが排他的な（誤挿入できない）接続となります。異なるキーコード（※ 1）のコネクタとの誤接続が防止できるだけでなく、同一のキーコードでも向きの誤りを防ぎます。（90°、180°、270°）

28 系統より多いケーブル接続がある装置では、閉塞ピン数を 3 以上とすることによって、更に多くの排他的接続が可能です。詳細は当社までお問い合わせください。

※ 1

キーコードとは、本製品の閉塞ピンの位置を示すコードで、4 × 4 配列の左上を起点として、0 ~ F を右図の順で割り振ったものです。

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	A	B
C	D	E	F



■電線を圧着する為の工具



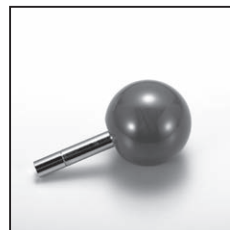
■品番 OMXT-1
圧着工具本体



■品番 XRS-4
工具の先端につけるツールです。
RST シリーズ用

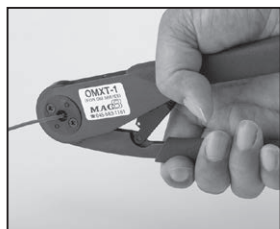


■品番 RST-D-A
ハウジングを置く台



■品番 PCX-1（先端チップ P-3）
ハウジングにソケット、ピンを圧入する工具

■作業方法



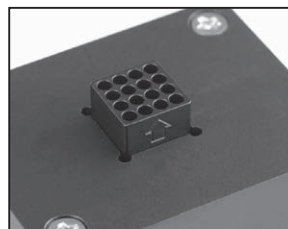
① 端子を圧着工具に入れ
端子の穴の中に電線を入
れる



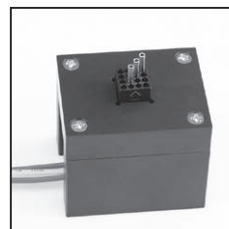
② 圧着工具で締めつけ
る。電線の太さにより
ダイヤル（1 ~ 8）を
調整する



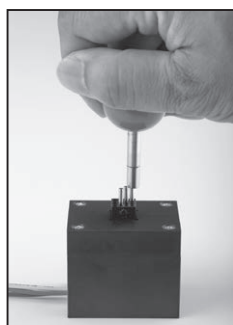
③ 圧着された状態の
様子



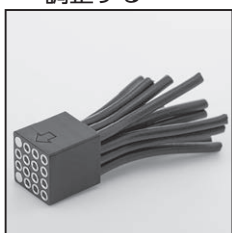
④ ハウジングを RST-D-A
に入れる



⑤ 電線側からハウジ
ングの穴の中に入
れる



⑥ PCX-1 で押し込む



⑦完成

■使用上の御注意

- 異なるキーコードのコネクタであっても、無理に挿入しようとした時にピンの先端が電氣的に接触する可能性がありますので、コネクタ挿抜作業中には装置の電源を遮断することを推奨します。
- 接続する双方のピンの 4 × 4 配列位置が正しく一致する様に合わせて挿入して下さい。ピンのピッチ（2.54mm）単位でずれた（横にはみ出した）場合には、キーコードが異なっても差し込める場合があります。
- 閉塞ピン数の異なるコネクタは相互に挿入できてしまう場合がありますので、同一装置内では閉塞ピン数の異なるコネクタを混在させないで下さい。また、当社が推奨するキーコードの一覧に無い閉塞ピンの選択をされた場合は、誤挿入できてしまう可能性があります。